

## 2023年夏 超短期海外派遣プログラム（スリランカ） 募集要項

### = 重要 =

・本プログラム参加にあたっては、必ず応募説明会（対面または zoom）、および奨学金支給に関する説明会に参加し（不参加の場合は録画視聴すること）、家族・保証人及び指導教員に相談し、同意を得ること。

応募説明会：2023年5月17日（水） 12:40-13:40 オンライン

Zoom：[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_3uXJgpUmQ\\_OkDLUxABDDkw](https://zoom.us/webinar/register/WN_3uXJgpUmQ_OkDLUxABDDkw)

奨学金支給に関する説明会（4月13日開催済み）アーカイブ動画：

[http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship\\_choutanki\\_2023/](http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship_choutanki_2023/)

・感染症拡大、自然災害等の影響により、渡航が中止になる場合や、渡航開始後であっても本学の判断で途中帰国を指示する可能性がある。またその際に、自己負担のキャンセル料が発生することを了承の上、応募すること。

・以下の状況となった場合、渡航を中止する、また渡航期間或いは渡航先を変更することになる可能性がある。

（ア）滞在（予定）地域が日本からの渡航者・日本人に対する入国制限措置及び入国・入域後の行動制限を発令した場合

（イ）本学が危険と判断した場合

（ウ）滞在（予定）地域の危険情報レベルが2以上になった場合（参考：外務省 海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>）

（エ）派遣先大学、機関等が受け入れを拒否した場合

・以下の大使館の URL には最新情報と、日本からの渡航者に対する各国・地域の入国制限措置及び入国後の行動制限が記載されているので、必ず確認すること。

在スリランカ日本大使館：[https://www.lk.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.lk.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

【概要】 本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。

本学で「グローバル理工人共修2・グローバル理工人特論2」授業等を担当するアーナンダ・クマール氏が学長を務める Lanka Nippon BizTech Institute (LNBTI) への訪問、LNBTI 学生や近隣の高校生との交流、LNBTI 学生との郊外へのショートフィールドトリップ、世界遺産の訪問（シーギリヤロック、ランギリ・ダンブッラ石窟寺院、アヌラーダプラの3か所）を予定しています。上記訪問先は変更になる可能性があります。本プログラムの参加者を下記の通り募集致します。

【派遣先】 スリランカ

【渡航期間】 2023年9月2日（土）～9月14日（木）（11泊13日）

【費用】 25万円程度（予定）（航空券代、現地宿泊費、現地長距離移動費）

\*ビザ代、海外旅行保険料、諸経費（現地食費、世界遺産入場料等）は含まれません。

\*費用支援制度については下記【海外留学支援制度（協定派遣）について】を参照のこと。

\*大学の指定する海外旅行保険に加入する必要があります。

\*宿泊先はプログラム指定ホテルとなります。(2名1室)

ショートフィールドトリップについては、同行するLNBTI学生と同室で宿泊することを検討していません。(3名1室)

\*航空券、現地長距離移動、現地宿泊に関する手配は、本学が行います。

#### 【履修単位】

・学士課程1年生および2年生の参加については、「グローバル理工人海外研修ベーシックIA(1単位)」の単位が付与される。

・学士課程3年生及び4年生、また修士課程の学生の参加については、「グローバル理工人海外研修IA(1単位)」の単位が付与される。学士課程4年生の参加については、以下の条件を満たす必要がある。

1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず、卒業できる見込みがある。

2) 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。

・上記にかかわらず「グローバル理工人海外研修」等ではなく所属学科の科目による単位付与が行われる場合がある。

#### 【応募資格】

1. 東工大正規課程学生(学士課程および修士課程の学生)。

2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。

3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている者を優先する。

① グローバル理工人育成コースの科目履修単位取得数が修了要件に近い。

② ポートフォリオに必要事項(グローバル理工人育成コースの志望動機、所属時ルーブリックの入力をしている)。

\*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細は、以下のURLにて要確認。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/> (応募者多数の場合は、超短期派遣に初めて参加する者を優先します。)

【応募方法】T2form (<https://www.t2form.titech.ac.jp/sv/563832?lang=ja>) から申し込むこと。

※学士課程1年生の応募者は高等学校3年次1年間の成績が分かる書類をアップロードすること(通知表コピー等、画像可)。

【募集人数】10名 (最少催行人数6名に達しない場合、プログラムを中止する場合がある。)

【選考方法】書類審査及び面接 (面接は書類審査通過者のみに実施します。)

【応募締切】2023年6月12日(月) 9:00

\*応募に際しては、申請書類に指導教員、またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得ること。その際、応募説明会でも案内する以下の通知書類を必ず当該教員に確認いただくこと。

[http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/05/advisors\\_letter\\_GSEC.pdf](http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/05/advisors_letter_GSEC.pdf)

\*留学生の参加については、渡航先のビザ取得期間等を確認の上、応募の可否を自身で判断すること。

【面接予定日】2023年6月13日(火)~15日(木) 大岡山キャンパス：対面

【結果通知】6月16日(金)16時までにメールで連絡

【事前・事後学習】(注：事前学習の日程は変更になる可能性があります。)

本プログラム参加者は、上記単位付与のためには、渡航期間を含む下記の26日間以上の国際教育にかかわる活動への参加が義務付けられる。

2023年6月19日(月)12:40-13:40 書類説明会(学士課程2年生以上対象)

@Taki プラザ B2 ワークショップルーム

2023年6月26日(月)13:30-15:00 海外安全オリエンテーション @zoom

2023年6月27日(火) 書類説明会(学士課程1年生対象)

@Taki プラザ B2 ワークショップルーム

2023年7月18日(火)12:40-13:40 T2appによる留学届・渡航届に関する説明会

@Taki プラザ B2 ワークショップルーム

2023年7月~9月：事前学習、グループワーク各5回

(全体で実施する事前学習日程は以下を予定、グループワークは別途連絡)

7月12日(水)12:40-14:40

7月19日(水)12:40-14:40

7月26日(水)12:40-14:40

8月18日(金)12:40-14:40

8月28日(月)12:40-14:40

2023年10月：成果発表会

【プログラム仮日程】(調整中)

Date	行動予定
9月2日 (土)	成田発11:35→コロンボ着17:25
9月3日 (日)	コロンボ市街見学
9月4日 (月)	LNBTI訪問、学生交流
9月5日 (火)	LNBTI訪問、学生交流
9月6日 (水)	LNBTI学生交流
9月7日 (木)	フィールドスタディ(訪問地検討中)
9月8日 (金)	世界遺産訪問
9月9日 (土)	世界遺産訪問
9月10日 (日)	フィールドスタディ(訪問地検討中)
9月11日 (月)	フィールドスタディ(訪問地検討中)
9月12日 (火)	スタディ発表会
9月13日 (水)	→空港へ移動 コロンボ発17:25→→
9月13日 (木)	→成田着 8:10

### 【海外留学支援制度（協定派遣）について】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度（協定派遣）の支援対象であり、以下の要件を満たす者については、この制度により留学に係る費用の一部を奨学金（及び渡航支援金※）として支援する。

下記の奨学金の要件1.のみを満たさない場合（留学生※）については、東京工業大学基金より支援するが、その他の要件はJASSO海外留学支援制度（協定派遣）同様である。

国費外国人留学生については、国費外国人留学生（日本政府（文部科学省）奨学金）制度の規定により、本プログラムの為の支援はない。

### 奨学金の支給要件

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（特別永住者を含む）。
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上である者。

#### [成績評価係数の算出方法]

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

計算式：(「評価ポイント3の単位数」×3) + (「評価ポイント2の単位数」×2) + (「評価ポイント1の単位数」×1) + (「評価ポイント0の単位数」×0) / 総登録単位数

※ 学部1年生の場合は、1Qの成績の成績評価係数を算出する。

3. 渡航を含め、31日以上(説明会・事前学習等を含む)の国際教育に関わる活動に参加すること。また、必ず単位を取得すること。

31日のうち本プログラムに関わる活動(26日間)については、【事前・事後学習】を参照。

これとは別途、超短期海外派遣奨学金支給指定科目より、渡航前に実施される科目を1科目履修し、必ず単位を取得すること。

超短期海外派遣奨学金支給指定科目：<http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/04/503de083c26e2077749c2e4db74eef71.pdf>

### 4. 奨学金の併給について

- 4-1. プログラム参加にあたり、本制度以外の奨学金を受ける場合、支給額が本制度による奨学金額を超えないこと。本制度以外の奨学金支給団体側が、併給を認めない場合があるのでしっかり確認すること。

※ 渡航に係る費用及び返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれない。

- 4-2. JASSO国内の奨学金「第一種・第二種奨学金」（貸与型）との併給は可能。

なお、留学期間中の貸与を休止する場合は、学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。

- 4-3. JASSO国内の奨学金「給付奨学金」との併給は認められない。留学期間中の給付を停止する場合は、本制度による奨学金支給を受けることができる。学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。

5. 以下の家計基準を満たす場合には、本制度による奨学金に加えて、「渡航支援金」（16万円）の支援対象となる可能性がある。

(家計基準)

家計支持者全員の収入・所得金額の合計が

給与所得のみの世帯：年間収入金額（税込）が 300 万円以下

給与所得以外の所得を含む世帯：年間所得金額（必要経費等控除後）200 万円以下

※ 家計支持者の収入・所得を証明する書類の提出が必要。取り寄せに時間がかかる場合もある  
為、対象となる可能性がある場合は、プログラム参加決定後すぐにグローバル人材育成推進支援室に申し出、必要書類を確認すること。

奨学金の支給要件 1. のみを満たさない場合（留学生※）については、東京工業大学基金より支援するが、その他の要件は JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）同様である。

※国費外国人留学生については、国費外国人留学生（日本政府（文部科学省）奨学金）制度の規定により、本プログラムの為の支援はない。

プログラム別の奨学金額（JASSO 規定に基づく）

指定都市：10 万円（フランス・パリ）

甲地域：8 万円（スウェーデン）

乙地域：7 万円（タイ）

丙地域：6 万円（スリランカ）

支援対象者決定までのスケジュールについて

6 月 16 日（金）16:00 以降 プログラム参加可否のメール通知時に、海外留学支援制度（協定派遣）また東京工業大学基金 支援可否を通知する。

※ 学部 1 年生の場合は、IQ 成績公開後の判定となる為、6 月 26 日（月）中の通知となる。

### 特記事項

- ◆ 海外留学支援制度（協定派遣）の支援を受ける場合、必要な手続き、提出物があります。  
「支給対象者の為の書類説明会」に必ず参加し、案内する期日までに提出物を必ず提出すること。
- ◆ 支給要件を満たさない事が後日判明した場合、また、履修状況等により本学において単位付与出来ない場合には、奨学金の支給後であっても、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
- ◆ **本プログラムへの応募を検討する際は、必ず奨学金支給条件に関する説明会（4月13日実施済）に参加するか、アーカイブ動画を視聴すること。**

[http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship\\_choutanki\\_2023/](http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship_choutanki_2023/)

### 【問合せ先】

グローバル人材育成推進支援室・留学情報館（Taki Plaza B1F）メールボックス：TP-004

電話：03-5734-3520 / email: [ghrd.sien@jim.titech.ac.jp](mailto:ghrd.sien@jim.titech.ac.jp)

プログラム日程（調整中。変更の可能性あり）